

2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 エスビー食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ担当 (氏名) 山崎 崇弘
兼 財務管理室長

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	91,358	2.2	7,914	19.2	7,992	17.5	5,661	18.6
2021年3月期第3四半期	89,410	2.2	9,790	42.0	9,686	42.7	6,959	22.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 5,849百万円 (22.4%) 2021年3月期第3四半期 7,534百万円 (28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	445.79	
2021年3月期第3四半期	547.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	135,592	60,364	44.5
2021年3月期	125,410	55,137	44.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 60,364百万円 2021年3月期 55,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		22.00		24.00	46.00
2022年3月期		25.00			
2022年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	1.5	8,200	13.2	8,100	13.7	5,700	14.3	448.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	13,954,234 株	2021年3月期	13,954,234 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,254,135 株	2021年3月期	1,254,044 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	12,700,078 株	2021年3月期3Q	12,700,289 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたワクチン接種等の対策が講じられているものの、新たな変異株の出現等による感染再拡大が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、昨年10月に緊急事態宣言が解除されたことで外食需要に持ち直しの動きが見られたほか、内食需要が引き続き高い水準で推移するなど、消費行動や市場構造に変化が生じており、先行きへの不安によるお客様の節約志向などと併せ、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、2020年4月より開始いたしました第2次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス&ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、社会環境の変化やお客様のニーズの多様化への対応に全社一体となって取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症の対策本部を中心に、感染予防・感染拡大防止に向け対策を徹底し、従業員の安全確保を最優先とした対応を進めますとともに、生産・物流の現場におきましては、衛生管理と感染リスクの対策を徹底の上、継続して製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において内食需要が引き続き高い水準で推移したことなどから、家庭用製品を中心にインスタント食品その他グループや、香辛調味料グループが伸びました。また、業務用製品にも回復がみられたことから、前年同期比19億48百万円増の913億58百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面では、原材料価格の上昇などによる売上原価率の増加に加え、プロモーション活動や販売活動費用が増加いたしましたことから、営業利益は前年同期比18億76百万円減の79億14百万円（同19.2%減）、経常利益は前年同期比16億94百万円減の79億92百万円（同17.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12億97百万円減の56億61百万円（同18.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比21億27百万円増の812億31百万円（同2.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比19億71百万円減の72億37百万円（同21.4%減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比1億78百万円減の101億27百万円（同1.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は93百万円増の6億44百万円（同17.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して101億82百万円増加し、1,355億92百万円となりました。これは主に、売上債権の増加116億71百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して49億55百万円増加し、752億28百万円となりました。これは主に、借入金の増加61億20百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して52億27百万円増加し、603億64百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加50億39百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、2021年5月13日に発表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,591	25,287
受取手形、売掛金及び契約資産	25,704	37,376
商品及び製品	9,786	8,324
仕掛品	2,541	2,566
原材料及び貯蔵品	6,482	7,346
その他	683	804
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	71,790	81,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,708	17,763
機械装置及び運搬具(純額)	10,505	10,974
土地	9,591	8,618
その他(純額)	3,092	2,819
有形固定資産合計	40,899	40,176
無形固定資産	854	742
投資その他の資産		
投資有価証券	7,344	7,482
退職給付に係る資産	32	71
その他	5,618	6,507
貸倒引当金	△1,129	△1,093
投資その他の資産合計	11,866	12,967
固定資産合計	53,619	53,886
資産合計	125,410	135,592

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,289	12,596
短期借入金	17,160	24,821
未払金	10,802	10,458
未払法人税等	1,770	919
賞与引当金	1,372	714
資産除去債務	1	—
その他	2,414	2,818
流動負債合計	45,810	52,329
固定負債		
長期借入金	16,752	15,212
退職給付に係る負債	5,935	6,008
資産除去債務	118	121
その他	1,656	1,557
固定負債合計	24,462	22,898
負債合計	70,273	75,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	47,776	52,816
自己株式	△2,932	△2,933
株主資本合計	51,925	56,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,575	2,686
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	16	47
退職給付に係る調整累計額	△243	△196
その他の包括利益累計額合計	3,211	3,399
純資産合計	55,137	60,364
負債純資産合計	125,410	135,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	89,410	91,358
売上原価	63,017	65,896
売上総利益	26,392	25,461
販売費及び一般管理費	16,601	17,547
営業利益	9,790	7,914
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	200	218
不動産賃貸料	31	32
為替差益	—	35
その他	114	145
営業外収益合計	355	444
営業外費用		
支払利息	362	364
為替差損	54	—
その他	43	2
営業外費用合計	460	367
経常利益	9,686	7,992
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	172	—
受取補償金	134	—
受取保険金	39	13
補助金収入	10	30
その他	4	1
特別利益合計	361	44
特別損失		
固定資産売却損	—	55
固定資産除却損	205	21
製品回収関連費用	—	52
その他	21	18
特別損失合計	227	148
税金等調整前四半期純利益	9,820	7,888
法人税、住民税及び事業税	2,844	2,220
法人税等調整額	16	6
法人税等合計	2,861	2,227
四半期純利益	6,959	5,661
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,959	5,661

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	6,959	5,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	563	110
為替換算調整勘定	△36	31
退職給付に係る調整額	47	46
その他の包括利益合計	575	188
四半期包括利益	7,534	5,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,534	5,849
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」といいます。)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	79,103	10,306	89,410	—	89,410
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	79,103	10,306	89,410	—	89,410
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	79,103	10,306	89,410	—	89,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	79,103	10,306	89,410	—	89,410
セグメント利益	9,208	550	9,759	31	9,790

(注) 1. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去31百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	81,231	10,127	91,358	—	91,358
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	81,231	10,127	91,358	—	91,358
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	81,231	10,127	91,358	—	91,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	81,231	10,127	91,358	—	91,358
セグメント利益	7,237	644	7,882	31	7,914

(注) 1. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去31百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	79,103	81,231	2,127	
スパイス&ハーブ	23,264	23,674	409	業務用香辛料 (増加)
即席	24,924	25,113	188	即席カレー (増加)
香辛調味料	32,396	33,706	1,310	チューブ製品 (増加)
インスタント食品その他	20,807	22,328	1,521	レトルトカレー (増加)
売上控除	△22,289	△23,592	△1,302	売上増加に伴う売上控除の増加 (減少)
調理済食品	10,306	10,127	△178	調理麺 (減少)
計	89,410	91,358	1,948	